補足資料

K939 画像等手術支援加算１ ナビゲーションによるもの（2,000点）

本加算における「ナビゲーションによるもの」とは、
手術前または手術中に得た画像を三次元に構築し、手術の過程において、
三次元画像と術野の位置関係をリアルタイムにコンピュータ上で処理することにより、
手術を補助する目的で用いるものとされています。

算定対象となる手術（告示上の例）

K939１は、告示により列挙された手術において、ナビゲーションによる支援を行った場合に算定するとされています。

【主な例】令和8年度診療報酬改定

- 肝切除術（K695）
- 腹腔鏡下肝切除術（K695-2）
- 移植用部分肝採取術（生体）（K697-4）
- 肺切除術 区域切除（１肺葉に満たないもの）（K511の2）
- 胸腔鏡下肺切除術 部分切除（K513の2）
- 胸腔鏡下肺切除術 区域切除（K513の3）
- 胸腔鏡下肺切除術 肺葉切除又は１肺葉を超えるもの（K513の4）
- 肺悪性腫瘍手術 区域切除（K514の2）
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除（K514-2の2）
- 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）原発病巣が７センチメートル以下のもの（K773-5の1）

*上記は一例であり、算定対象手術の最終確認は、診療報酬点数表および関連通知等に基づき、各ご施設にてお願いいたします。

Holoeyes MDにおける運用の一例

Holoeyes MDは、医用画像データを三次元画像として構築・表示し、手術時における情報参照・共有を目的とした使用を想定しています。術野観察と併用して参照できるよう汎用 IT 機器等の標準機能で取得される視点・姿勢（向き・位置）に応じて表示視点を更新し、これらの処理はリアルタイムで行います。

運用の一例としては、手術室内において、執刀医以外の医療従事者が三次元画像を参照し、術野観察と併用しながら必要な情報を術者へ共有する形が考えられます。

具体的な運用方法、役割分担、記録方法等につきましては各ご施設の手術体制および院内ルールに基づきご検討ください。

*使用目的または効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の詳細につきましては、最新版の電子添文をご参照ください。

- 販売名：医療用画像処理ソフトウェア Holoeyes MD
- 一般的名称：汎用画像診断装置ワークステーション用プログラム
- 医療機器認証番号：302ADBZX00011000

※本資料は、厚生労働省による「令和8年度診療報酬改定 K939 1 ナビゲーションによるもの」の通知内容に基づき、Holoeyes株式会社が独自に作成した参考資料です。令和8年度診療報酬改定や通知詳細については、厚生労働省のWebサイトをご確認ください。